

側方進入椎体間固定術の合併症のデータベース構築に関する研究

1. 研究の対象

2015年4月～2019年12月に当院で側方進入椎体間固定術を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年の脊椎前方低侵襲手術の導入に伴い、様々な合併症の報告があります。これらの手術を皆さんにとって安全な術式として普及していくために日本脊椎脊髄病学会新技術評価検証委員会を中心に継続的な全国調査を行い、合併症の軽減を目指します。研究期間は学校長承認後から2022年12月までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

試料：レントゲン 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

日本脊椎脊髄病学会会員が診療に従事する医療施設。

日本脊椎脊髄病学会ホームページ <http://www.jssr.gr.jp/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校病院整形外科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話 04-2995-1511

Fax 04-2996-5208

研究責任者：防衛医科大学校 整形外科学講座 講師 三宅敦

研究代表者：日本脊椎脊髄病学会 新技術評価検証委員会 委員長 中村雅也

-----以上